



# 日本ラッド株式会社

2026年3月期第2四半期（中間期）  
決算説明資料

※全て個別決算数値となります

2025年11月10日



- 01** 会社概要
- 02** 事業内容
- 03** 2026年3月期第2四半期（中間期）個別決算概要
- 04** 中期経営計画の進捗
- 05** 配当について
- 06** トピックス

商号	日本ラッド株式会社
資本金	12億3,948万円
代表者	大塚 隆之
設立	1971年6月7日
所在地	〒107-6030 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル30階
連絡先	03-5574-7800
従業員数	317名 ※2025年4月1日現在
事業内容	システム開発、エンタープライズ製品の導入コンサルティングから開発、運用、保守、AI製品の開発に加え、製造業向けDX事業を中核にIoT製品の導入コンサルティングから開発、運用、保守等幅広く展開
関連会社	One's House、ライジンシャ

“IT分野における  
顧客企業の  
ホームドクター”

Since 1971



### エンタープライズ ソリューション事業

各種システム・アプリケーションの受託開発  
および導入コンサルティング、SES型派遣、  
各種ビジネスプラットフォームSI、AIソ  
リューション開発・提案、ビッグデータ解析  
の構築支援等を行う

売上構成比率

58.3%



### IoTインテグレーション事業

製造業向けDXコンサル・導入支援・ソ  
リューション提供、自社オリジナルプラッ  
トフォームSI・エッジHW開発提供、エンベ  
デッドシステムの受託開発、エッジAI、医  
療機関向けソリューション、映像トータル  
ソリューション提供等を行う

売上構成比率

41.7%

## 決算サマリー（中間期）

### 売上高

エンタープライズ事業では特定顧客での大型開発案件がピークアウトしつつも売り上げはキープ、製造業向けDX事業は新規・継続ともに伸長、AI開発、エンベデッド事業のライセンス商流も安定的に推移

前年同期比 +2.6%

**19.9億円**

### 営業利益

物価高・人材採用コスト増大を受ける形での賃金上昇と映像事業での新規展開への先行的投資、外注費上昇の影響が継続して前年同期比では減益

前年同期比 ▲29.9%

**0.8億円**

### エンタープライズソリューション事業

前期大きく膨らむ要因となった大型顧客案件の一巡化に伴う人員稼働正常化と構造転換、DX・AIプロダクトへの要員シフト等で前年同期比微減

前年同期比 ▲2.0%

**11.6億円**

### IoTインテグレーション事業

製造業向けDX事業は新規・継続ともに案件数拡大、成長傾向は順調に維持、エンベデッド事業のセキュリティ商流についても引き続き安定的に推移し前年同期比増加

前年同期比 +10.0%

**8.3億円**

## 損益計算書（P/L）

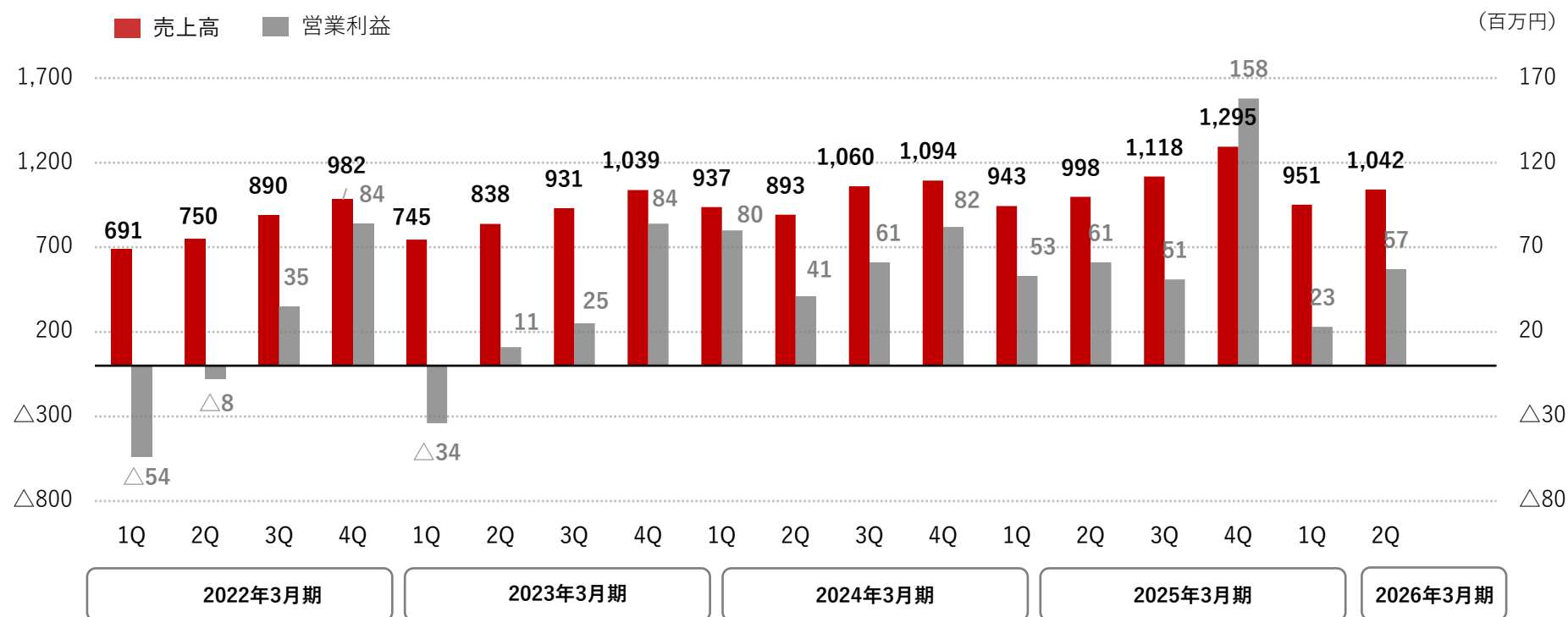
第1・第2四半期ともに売り上げは前年同期比で共に増加と順調に推移、四半期利益については第1四半期はエンタープライズ事業での前年度末の大口案件駆け込みの影響で減益となりましたが、第2四半期は前年同期並みで推移しました。

（発生額：百万円）

	2025年3月期					2026年3月期			前年同期 比率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	中間期	
売上高	943	998	1,118	1,295	4,356	951	1,042	1,993	2.6%
営業利益	53	60	46	157	318	23	57	80	▲29.9%
経常利益	118	61	51	158	390	83	61	144	▲20.0%
当期純利益	78	46	27	264	417	47	53	100	▲20.4%

## 売上高・営業利益の四半期推移

各四半期での売上は期を追うごとの拡大傾向を維持しております。各四半期利益については引き続き物価上昇に伴う外注費増や賃金増加、映像新規事業の立ち上げコスト等を受けやや悪化したものの、安定的な黒字化基盤は確立出来つつあると考えております。人件費要素は増加する前提であり、構造的な改革は継続した重要課題です。



## エンタープライズソリューション事業

前期の押し上げ要因となった大口顧客システム開発が完納したことによる案件の平準化が進み、安定的な稼働状態へと戻りつつある中、製造業向けDXを始め新規案件の引き合いが強いこともありエンジニアリソースの円滑な調達を図るべく、計画的に次代のシステム開発体制構築のためのアサインシフトを実施し、結果売り上げ微減となっております。BI事業は安定的に推移、CSはAIシフトを実行中です。人件費・外注費を中心にコスト増傾向は継続しました。

(発生額：百万円)	2025年3月期					2026年3月期			前年同期比率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	中間期	
セグメント売上高	600	590	618	629	2,438	595	578	1,173	▲1.5%
セグメント利益	111	106	83	81	380	88	84	172	▲20.4%
セグメント利益率	18.5%	18.0%	13.4%	12.9%	15.6%	14.7%	14.5%	14.7%	▲3.5pt

※売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて表示しております。



## IoTインテグレーション事業

製造業向けDX事業においては、既存顧客及び新規顧客共に順調に受注が増加しました。プロダクト・プラットフォーム開発も順調で、前期後半に発表した当社オリジナルのDerevaプラットフォームは、既存のkonekti、kintoneインテグレーションのソリューションと併せ基幹システムとの連携や導入の早さといった利便性の高さで引き合い数が順調に増加しております。医療機関向けシステムは大口受注が後ろ倒しとなりましたが、自動車搭載セキュリティシステムのロイヤリティ収入や船舶搭載用ソリューションが引き続き安定した成長をみせました。

（発生額：百万円）

	2025年3月期					2026年3月期			前年同期比率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	中間期	
セグメント売上高	344	412	505	683	1,944	359	473	832	10.0%
セグメント利益	57	77	117	189	441	59	77	137	2.0%
セグメント利益率	16.6%	18.7%	23.2%	27.7%	22.7%	16.4%	16.3%	16.5%	▲1.3pt

※売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて表示しております。

## キャッシュフロー

- 営業活動CF：税引前中間純利益による収入、売上債権の減少による収入、仕入債務の減少による支出などで前年同期比94百万円増加しました。
- 投資活動CF：子会社株式の取得による支出、有形・無形固定資産取得による支出などで前年同期比3億44百万円減少しました。
- 財務活動CF：配当金の支払いによる支出などで前年同期比29百万円減少しました。

(百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比 増減
営業活動によるCF	137	231	94
投資活動によるCF	△33	△377	△344
財務活動によるCF	△25	△54	△29
現金及び現金同等物の増減額	78	△200	△278
現金及び現金同等物の期末残高	2,333	1,985	△348

## 貸借対照表（B/S）

流動資産の減少及び投資その他の資産の増加は、関係会社株式が増加したことによるものです。  
 流動負債の減少は、買掛金、未払法人税等、未払消費税等が減少したことによるものです。  
 純資産の増加は、利益剰余金、有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

（百万円）

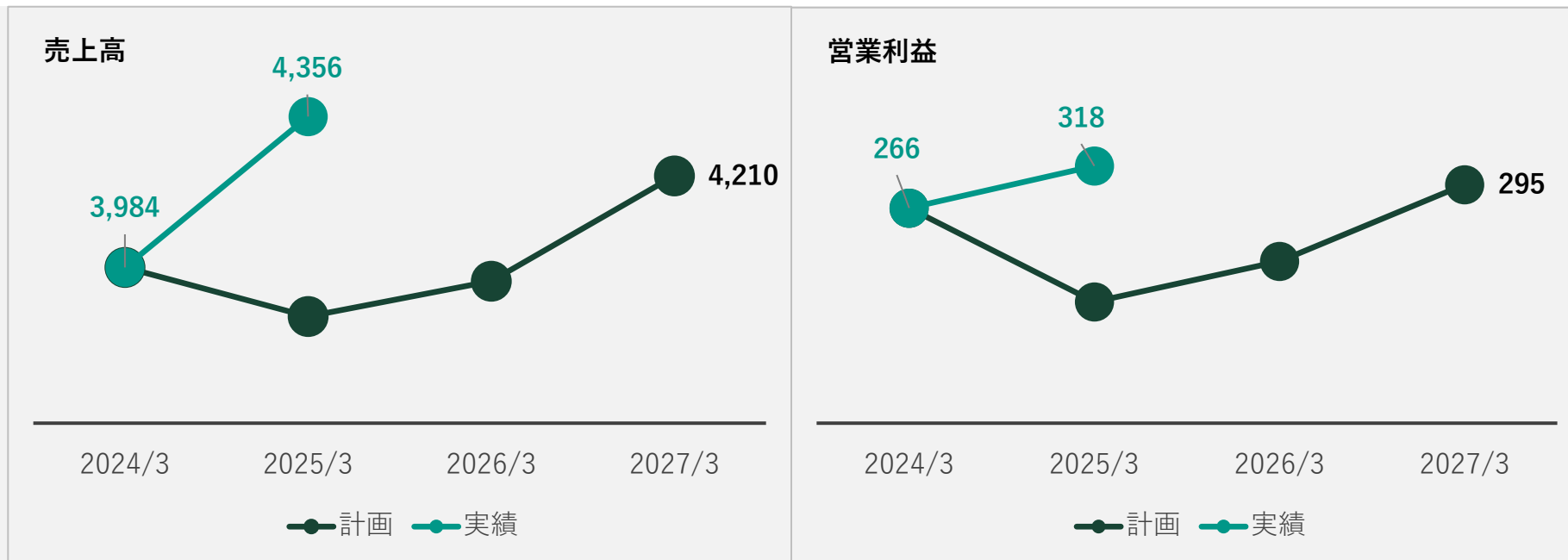
資産の部	2025年3月期	2026年3月期 中間期	増減	負債・純資産の部	2025年3月期	2026年3月期 中間期	増減
流動資産	3,467	2,976	△491	流動負債	879	642	△237
固定資産	1,471	1,801	330	固定負債	670	689	19
有形固定資産	259	249	△10	<b>負債合計</b>	<b>1,550</b>	<b>1,331</b>	<b>△219</b>
無形固定資産	111	121	10	株主資本	3,310	3,358	48
投資その他の資産	1,100	1,431	331	資本金	1,239	1,239	－
<b>資産合計</b>	<b>4,938</b>	<b>4,777</b>	<b>△161</b>	資本剰余金	994	994	－
				利益剰余金	1,108	1,156	48
				自己株式	△31	△31	－
				<b>評価・換算差額等</b>	<b>77</b>	<b>88</b>	<b>11</b>
				<b>純資産合計</b>	<b>3,388</b>	<b>3,446</b>	<b>58</b>
				<b>負債純資産合計</b>	<b>4,938</b>	<b>4,777</b>	<b>△161</b>

## 業績予想

- エンタープライズソリューション事業においては、構造転換を図りつつも新たなアプリケーション開発、開発常駐派遣型の役務提供による売上高の安定的推移を想定しており、継続して原価増懸念等も踏まえて利益についても予想通りとしました。
- IoTインテグレーション事業においては、製造業向けDX事業が下期も順調に伸長すると想定しており、メディカル分野においても上半期の後ろ倒しとなった顧客の売上高が見込まれており、利益についてはも予想通りとしました。
- 全体として期初発表予想の進捗率は5割程度となっており、経常、純利益については超過傾向となります。

(百万円)	2026年3月期 中間期（実績）	2026年3月期（予想）	進捗率（%）
売上高	1,993	4,050	49.2
営業利益	80	163	49.1
経常利益	144	224	64.3
当期(第2四半期) 純利益	100	165	60.6

2024年5月に設定した3カ年中期経営計画目標（2027年3月期売上高42億10百万円、営業利益2億95百万円）に対しては2025年3月期で一旦達成しましたが、事業構造改革への先行投資を優先しつつ、最終年の目標達成へ向けて日々邁進しております。

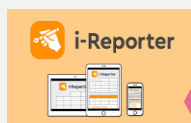
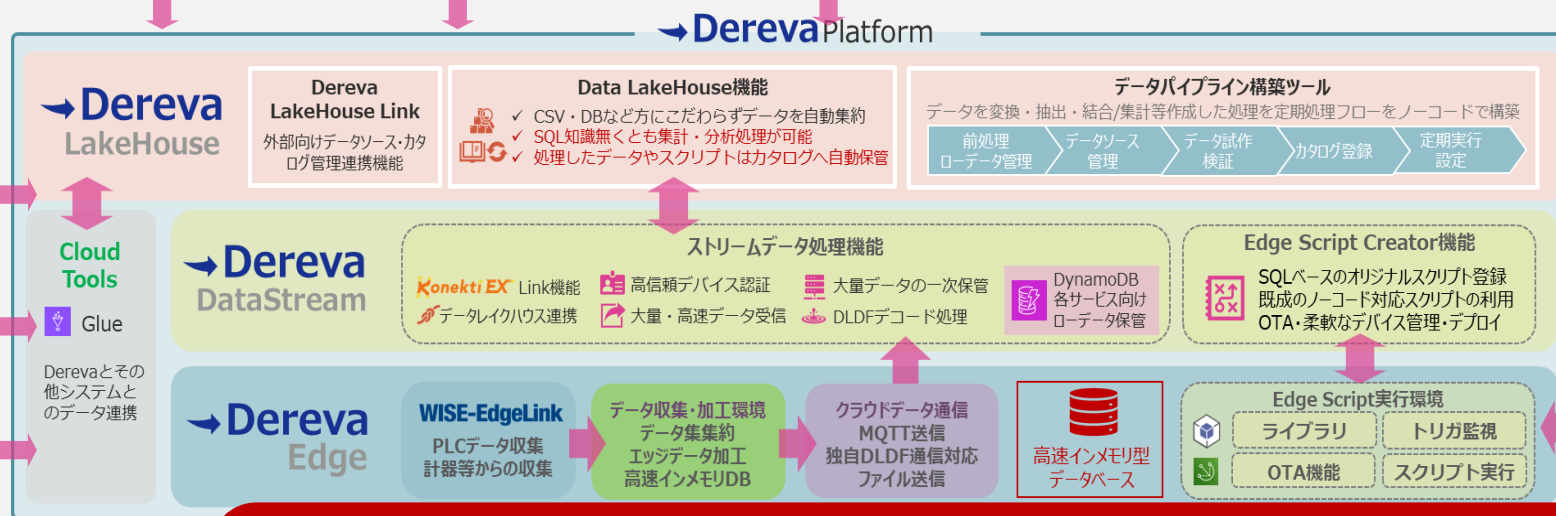
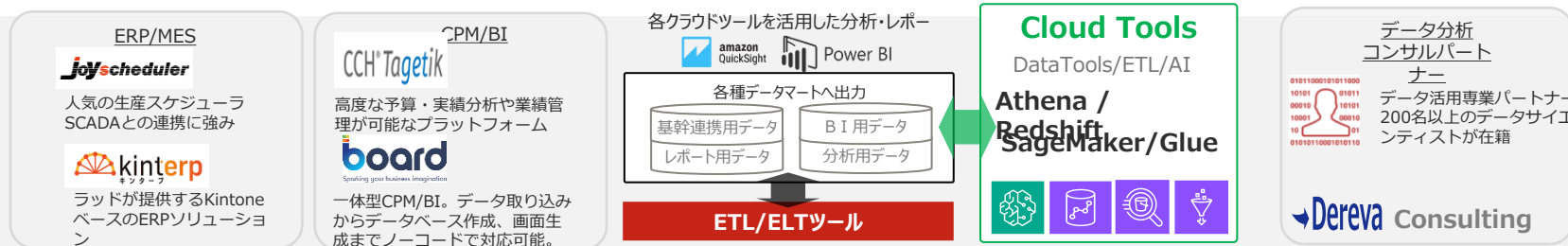


### 経営目標(単体⇒連結グループへ)

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2027年3月期 (連結)
売上高	3,863	3,950	4,210	5,000
営業利益	150	200	295	-

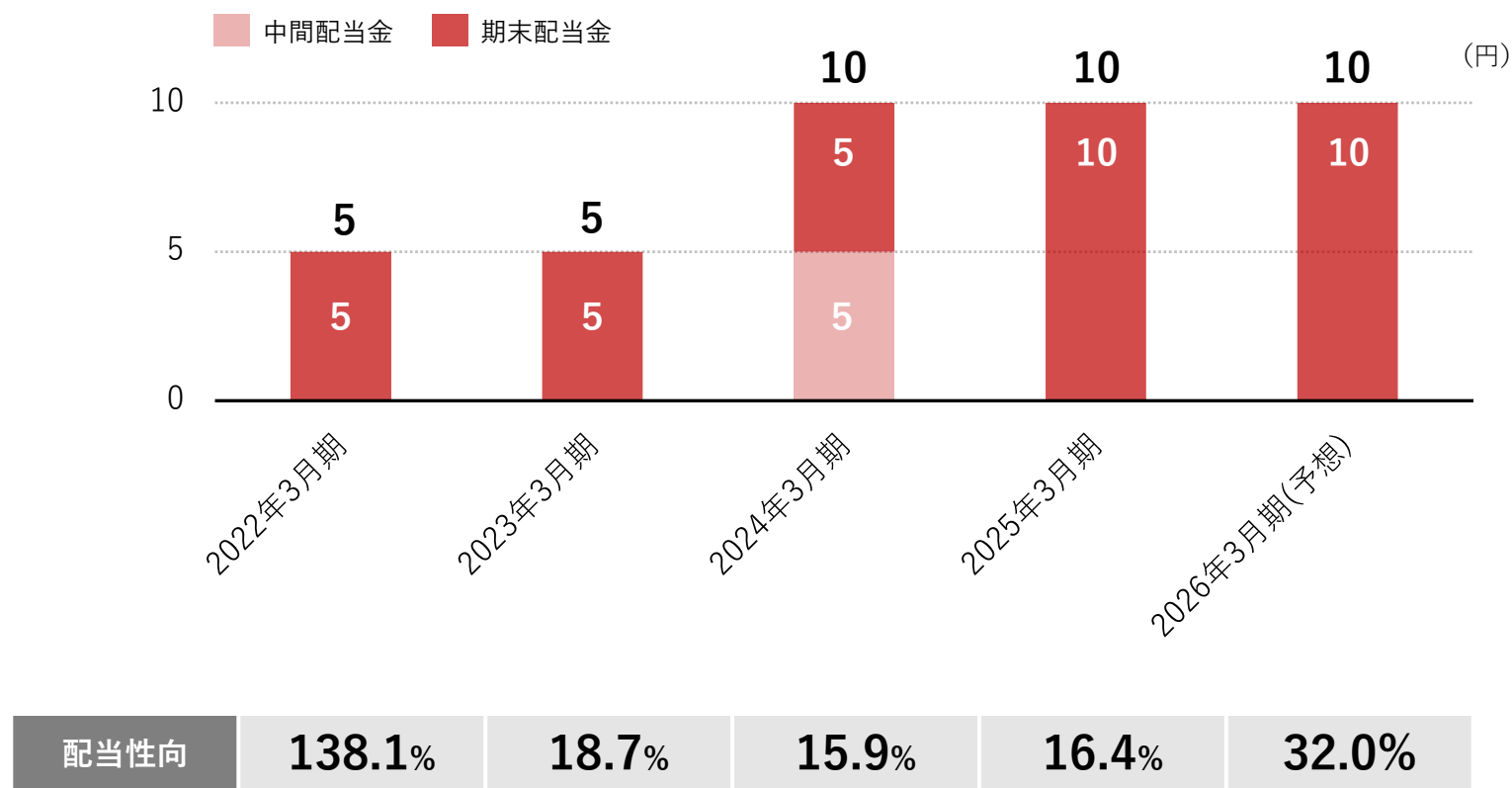
# Derevaを中核としたラッドエコシステム構築 - ハードウェア事業の蓄積の強み

→ **Dereva** 最新型のIndustrial IoT & Data Ops PlatformであるDerevaの内外のエコシステム中核化構想のコア



## 配当金の推移

過去最高益となった先期配当を今期も継続し10円配当予定とし、結果配当性向は**32%**となりました。中期経営計画においても配当性向は現状維持させて頂く方針を掲げつつ、株主様還元を重要指標として配当性向を向上していけるよう努める所存です。



## 株式会社One'sHouseの全株式を取得して連結子会社化、名古屋地域における拠点展開、統合的發展を目指し特に消防や農協、製造業向け受託ビジネスの拡大を企図

2025年7月下旬に連結子会社となり、第3四半期以降（下半期）では、連結合算となります。



商号	株式会社One's House
資本金	1,000万円
代表者	犬飼 成秋
設立	2007年2月1日
所在地	〒453-0016 愛知県名古屋市中村区竹橋町13-18 オフィス・ワン・タケハシ4階
連絡先	052-602-7727
従業員数	13名 ※2025年9月30日現在
事業内容	システムの設計・開発・技術支援、システムインテグレーションサービス、システムの運用・保守他



映像ソリューション強化として「インテリジェントメディアソリューション推進室」を新規立上げ、撮像から投影までカバーオールでのソリューション展開を行い、官公庁・防衛産業や映像・放送のプロ等向けの提案・販売展開を大幅に強化します。

インテリジェントメディアソリューション

**BOLIN**  
TECHNOLOGY

PTZカメラ



**KILOVIEW**

NDIレコーダー



**YUAN**



**VITEC**

エンコーダー・  
デコーダー



映像ソリューション

**DEXON**

ビデオプロセッサ



**PLANAR**

大型ディスプレイ



## 米Indicio社の次世代型個人認証ソリューション「Proven Auth」の本格展開を開始

米国Indicio社の次世代型認証ソリューション

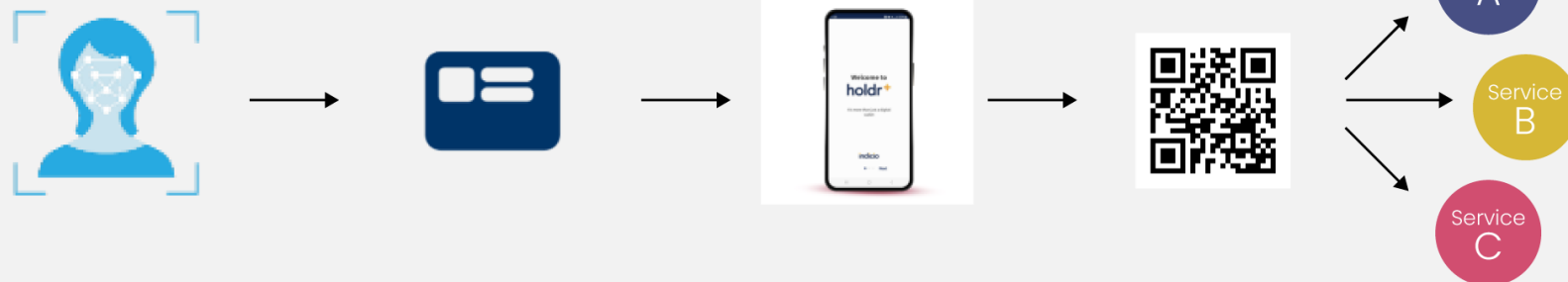
「Proven Auth（プルーン オース）」の国内正規代理店および技術パートナーとして、同製品の提供を開始しました。



### ポイント

- ✓ **セキュリティ**  
パスワード不要で、情報漏洩リスクと発行者の責任を軽減
- ✓ **ユーザビリティ**  
QRコードで簡単ログイン、パスワード管理から解放
- ✓ **効率・コスト**  
迅速な導入と低コスト運用
- ✓ **プライバシー・可用性**  
分散型で追跡されず、安定した利用が可能
- ✓ **柔軟性**  
ゼロトラストに対応し、きめ細やかなアクセス管理を実現

Workflow



## CYBOZU AWARD2025 「エリア賞（首都圏）」を受賞

2016年以降サイボウズ様提供のkintoneオフィシャルパートナーである当社は、CYBOZU AWARD2025のエリア賞（首都圏）を受賞致しました。以下は6月19日の受賞式の模様です。



### ポイント

#### Kinterp（キンタープ）

- ✓ kintoneアプリ間の連携
- ✓ 属人的なExcel管理を脱却
- ✓ 他システムとの連携
- ✓ 開発コストの削減



## 本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

日本ラッド株式会社 経営企画室

TEL 03-5574-7801